

2024年1月30日

各 位

会 社 名 アンリツ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 濱田 宏一
 (コード：6754、東証プライム)
 問合せ先 取締役 専務執行役員 CFO 窪田 顕文
 (TEL. 046 - 296 - 6507)

2024年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年1月30日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年10月30日に開示した2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 2024年3月期の連結業績予想数値の修正（IFRS・2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者 に帰属する 当期利益 (百万円)	基本的 1株当たり 当期利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	111,500	10,900	11,400	8,500	8,500	64.55
今 回 修 正 予 想 (B)	110,500	10,100	10,600	8,000	8,000	60.76
増 減 額 (B-A)	△1,000	△800	△800	△500	△500	—
増 減 率 (%)	△0.9	△7.3	△7.0	△5.9	△5.9	—
(参考) 前 期 実 績 (2023年3月期)	110,919	11,746	12,438	9,256	9,272	69.98

(参考) Q1～Q3為替レート：1米ドル=143円
 Q4想定為替レート：1米ドル=140円

2. 修正の理由

当社グループの主力である通信計測事業においては、生成AIの普及拡大によるデータセンター等でのネットワーク高速化に向けた測定需要が引き続き堅調であるものの、中国市場において5Gスマートフォンの開発投資需要が停滞しています。

このような状況から、第3四半期の実績も踏まえて、通信計測事業の売上収益を700億円、営業利益を85億円にそれぞれ下方修正します。

PQA事業、環境計測事業及びその他事業においては、業績予想の変更はありません。

営業利益の修正、金融収益・費用の計上の影響を織り込んだ結果、税引前利益を106億円、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益を80億円にそれぞれ下方修正します。

配当については、期初計画どおり1株当たり年間40.00円を予定しております。

(参考)

セグメント別売上収益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2023年10月30日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
売上収益	111,500	110,500	△1,000	△0.9	110,919
通信計測	71,000	70,000	△1,000	△1.4	72,753
P Q A	26,000	26,000	—	—	24,849
環境計測	8,000	8,000	—	—	6,376
その他	6,500	6,500	—	—	6,939

セグメント別営業利益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2023年10月30日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
営業利益	10,900	10,100	△800	△7.3	11,746
通信計測	9,300	8,500	△800	△8.6	10,874
P Q A	1,600	1,600	—	—	1,331
環境計測	500	500	—	—	51
その他	500	500	—	—	560
調整額	△1,000	△1,000	—	—	△1,071

地域別売上収益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2023年10月30日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
売上収益	111,500	110,500	△1,000	△0.9	110,919
日本	35,000	35,000	—	—	33,042
海外	76,500	75,500	△1,000	△1.3	77,876
米州	26,000	26,000	—	—	24,799
EMEA	15,000	15,000	—	—	14,732
アジア他	35,500	34,500	△1,000	△2.8	38,344

(注1) EMEA (Europe, Middle East and Africa) : 欧州・中近東・アフリカ地域

(注2) 前期のセグメント別売上収益及び営業利益については、当期の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しています。

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。